



気仙沼市 津波避難ワークショップ(2015/8/27)

場所：気仙沼市 鹿折小学校

参加者：安倍助手（東京海上日動 寄附研究部門），牧野嶋（M2）

宮城県気仙沼市は、東日本大震災以降、地域の特性に応じた実効性のある津波避難計画の策定を目的に、住民の方々や地域の団体を巻き込み小地区ごとの津波避難計画の作成に取り組んでおられます。この度、8/27 に、気仙沼市鹿折地区を対象とした第一回目の津波避難ワークショップが開かれ、当研究室より安倍助手と牧野嶋が参加させていただきました。

第一回目では、ワークショップ開催趣旨、気仙沼市の津波対策の現状及び津波避難計画（全市版）の説明の後、参加された住民の方々に、東日本大震災時の当該地区の避難行動の振り返りが行われました。こうした震災当時の詳細な情報は、津波避難の研究にとって非常に重要な知見となり、今後の研究成果に反映されることが期待されます。住民の方々は大変熱心に地域の問題・課題について議論されたほか、「津波」の特性にも興味を持たれ、住民の方から当研究室の参加者に質問がされる場面も見受けられました



開催趣旨や津波対策の説明のようす



地区の地図を取り囲んで熱心な議論



住民の方々の体験や意見で埋まる地図